全国訪問教育研究会

第３１回全国大会（新潟）　開催要項

２０１８年4月２０日

■大会実行委員長あいさつ■

「教育の光をくまなく、どの子にも教育の光を」を合言葉に、１９６０年代後半から全国各地で始められた訪問指導(訪問教育の前身・当時の呼称)は、どのように展開し半世紀を経た今日、その教育保障の内実はどこまで到達したのでしょうか。１９７９年度からの養護学校教育の義務制実施により訪問教育として制度化されましたが、その担い手である訪問教師をはじめ、多くの人々の教育にかける熱い想いや期待に支えられてきた今日までの歩みは、多くの人々の共感を得ながらそのネットワークを拡げてきました。

訪問教育は、障害が重いとされ不就学となっていた子どもたちの教育権獲得の道のりでした。教育基本法には「教育の目的は、あらゆる機会に、あらゆる場所において実現されなければならない」という教育の方針が示され、この条文から在宅であろうが施設入所であろうが、学齢の児童生徒について、一人ももれなく保障される教育の必要性と正当性を見い出せるものです。訪問教育は、その具体化の役割と意義を提示し続けてきました。さらに、訪問教育は障害児教育の未来を方向づけ、先導する役割も果たしてきました。後期中等教育（高等部）における訪問教育の実施は、改めて、障害の重い子どもたちの青年期教育を問うものになりました。また、医療的ケアにも取り組んできました。これは、医療的ケアを必要とする子どもたちに合わせた教育課程づくりと教育条件整備、さらに、教育・医療・福祉との関係、連携の在り方等、今日的に改めて学校教育とは何かを問うものといえるでしょう。

この新潟大会では、これまでの訪問の歩み(蓄積された実践・研究)に学びながら、そこから何を受け継ぎ、明日につないでいくかを「受け継ごう　訪問の歩み　切り開こう　訪問の未来を」としてサブテーマに掲げました。２００６年の新潟市での第１９回全国大会以来、２回目の新潟県での大会となります。準備スタッフも当時とほぼ同じメンバーで、なつかしい顔ぶれに出会うかもしれません。今大会は新潟県の中央部、県央と呼ばれる三条市・燕市地域が大会会場となります。新潟市と並び新潟県の訪問指導開始の発祥地となった場所です。洋食器、伝統工芸品など地場産業の拠点の地域ですが、有名なラーメンの激戦区でもあります。大会３日間を通して熱き想いや期待を語り、美味しい新潟の食も味わっていただければと、準備スタッフ一同願っています。皆々様の参加お待ちしています。

全国訪問教育研究会第３１回全国大会（新潟）実行委員長　平賀　哲
（元・全国訪問教育研究会 副会長）

■大会テーマ■

「一人ひとりのいのちが輝く教育をめざして～受け継ごう　訪問の歩み　切り開こう　訪問の未来を」

■開催日時■

２０１８年８月６日（月）～８日（水）　開会１３時００分（開場１２時００分）

■会場■

燕三条地場産業振興センター
〒955-0092　新潟県三条市須頃１丁目１７番地
TEL 0256-32-2311
（上越新幹線「燕三条」駅:燕側出口から徒歩5分）

■主催■

全国訪問教育研究会

■後援■

文部科学省・厚生労働省・全国特別支援教育推進連盟
全国特別支援学校肢体不自由教育校長会
全国特別支援学校知的障害教育校長会・全国特別支援学校病弱教育校長会
社会福祉法人全国重症心身障害児(者)を守る会・全国訪問教育親の会・全国病弱教育研究会
全国肢体不自由特別支援学校ＰＴＡ連合会・認定NPO法人難病のこども支援全国ネットワーク
独立行政法人国立特別支援教育総合研究所
（以下は申請中）
全国特別支援学校病弱校長会・新潟県教育委員会・新潟県特別支援学校長会

■大会日程■

８月６日（月）		８月７日（火）		８月８日（水）	
12:00	開場・受付開始	9:00	分科会打ち合わせ（司会 共同研究者・ﾚﾎﾟｰﾀｰ）	9:00	ワークショップ準備
13:00	開会行事・基調報告「第8次全国調査報告」	10:00	分科会	9:30	ワークショップ（～11:00）
14:05	大会記念シンポジウム	12:30	昼食	11:15	全体会（閉会行事）
		13:40	分科会		大会終了
17:00	諸連絡	16:10	分科会終了	11:45	
17:20	全訪研総会	16:30	共同研究者・役員懇談（～17:30）		
18:00	総会終了	18:00	夕食交流会（～20:00）		

※「第８次全国調査報告」の冊子は大会申込みと同時に事前申込みが可能です。会場でも販売します。

■内容■

（１）大会記念シンポジウム　(8/6　14:05～17:00)

「受け継ごう　訪問の歩み　切り開こう　訪問の未来を」

シンポジスト：中島　孝（国立病院機構新潟病院院長）
シンポジスト：下川　和洋（NPO 法人「地域ケアさぽーと研究所」理事）
コーディネーター兼シンポジスト：髙橋　淳（新潟県立東新潟特別支援学校長）

（２）全訪研総会　(8/6　17:20～18:00)

全訪研の昨年度の活動、今後の活動方針等について総会を行います。
①活動報告（2017 年８月～2018 年７月の全訪研の活動内容）
②2017 年度 決算報告、会計監査　③2018 年度 予算　④2018 年度 活動方針
⑤規約　⑥役員候補　⑦事務局員委嘱

（３）分科会　(8/7　10:00～12:30　13:40～16:10　※12:30～13:40 昼食休憩)

分科会名	分科会のねらい（◆共同研究者）	
①健康・身体づくり　1	○障害が重く、日常的にさまざまな健康管理の必要な子どもに対する関わりについて考えます。呼吸・摂食・排泄・運動動作などの指導について、講義・実践を交えながら交流しましょう。 ◆花井　丈夫（能見台こどもクリニック　理学療法士）	**午前は①②分科会合同でレポート報告･討議を行います。午後は分かれて実技講座を行います。**
②健康・身体づくり　2	○姿勢づくりや子どもの活動を引き出す関わりについて考えます。講義・実践を交えながら交流しましょう。 ◆竹脇　真悟（埼玉県立宮代特別支援学校）	
③コミュニケーション	○重度・重複障害児のコミュニケーションを育てるための援助や配慮について、レポートを元に訪問での実践内容を交流しましょう。 小中学部の訪問生だけでなく、過年度生など青年期に入っている生徒についても、「コミュニケーション」という視点から幅広く討議をしましょう。 ◆川住　隆一（東北福祉大学） ◆苅田　知則（愛媛大学教育学部）	
④授業づくりと教育課程　1 －授業づくりと条件・制度－	○日々の授業や時間割をどう組み立てていくのか、また複数訪問やスクーリング等の集団学習をどんな内容で行っていくか。制度・条件整備の面からは、訪問回数・複数での指導体制・集団活動の保障・既卒者問題・旅費・施設や病院での授業場所など、訪問教育の課題となっている諸条件や制度上の問題について、考えていきましょう。 ◆河合　隆平（金沢大学人間社会研究域　全訪研副会長） ◆沖野　康代（京都府立向日が丘支援学校　全訪研副会長）	

⑤授業づくりと教育課程　２ ー授業におけるあそび･文化ー	○障害が重く、限られた環境・条件の中での授業づくりは、誰しも悩むところだと思います。貴重な経験や工夫を交流しあって共有の財産としましょう。訪問での実践内容、また、青年期に入っている生徒への実践についても、「あそび」から発展した「文化」という視点から幅広く討議しましょう。 ☆参加される方は、教材を持ってきてください。分科会内で教材紹介を行います。 ◆木下　博美（京都府立舞鶴支援学校）
⑥病気療養児の教育	○“生きる力を育む”いのちの輝く教育を求めて、病気療養児の教育内容・方法や、院内学級・分教室・病院内訪問教育の実践を深めていきましょう。 ◆猪狩　恵美子（福岡女学院大学人間関係学部） ◆滝川　国芳（東洋大学文学部）
⑦教育と地域での生活支援 ー医療・福祉・教育の連携	○子どもたちの学びと生活を豊かにするためには、「地域の中で生きる」視点での生活支援、卒業後の進路を見通した指導、アフターケア、社会参加など、地域支援のネットワークづくりが大切になっています。医療的ケアを必要とする障害の重い子どもたち、内部疾患のある子どもたちなど、様々な障害のある子どもたちの就学前から在学中、卒業後までの教育と地域での生活を考えていきましょう。 ◆西川　紀子（社会福祉法人ロングラン理事長） ◆下川　和洋（NPO 法人地域ケアさぽーと研究所理事　全訪研全国事務局）

＜大会に参加される保護者の皆様へ＞

今大会では「全国訪問親の会懇談会」は開催しません。全国訪問教育親の会の福田智佳子さんには、分科会⑦「教育と地域での生活支援ー医療・福祉・教育の連携」のアドバイザーをお願いしました。
保護者の皆様は、出来るだけ分科会⑦にご参加ください。

●分科会でのレポート発表を希望される方へ

次の①～⑤について、６月１０日までにレポート担当宛に連絡をお願いします。

①分科会名・氏名・学校名または所属先名　　②自宅住所・電話番号(FAXの有無)・メールアドレス
③レポートタイトル　　④使用する視聴覚器機(DVD、パソコン等)
⑤レポートの配布などに関して、個人情報保護の配慮が必要かどうか

＜レポート担当＞　全国訪問教育研究会　全国事務局　　栗山 弘子
FAX　03-5330-8857　　h-kuri@peach.ocn.ne.jp

●レポート発表に関して

・大会実行委員会で用意できる視聴覚機器は、原則として、プロジェクターとスクリーンです。
パソコン、ビデオ、その他の機器を使用する場合は、各自でご用意ください。
会場で用意するプロジェクターの入力端子はミニD-Sub15ピンのみです。お手持ちのパソコンの出力端子がミニD-Sub15でない場合は、変換アダプターが必要です。
パソコンに応じた変換アダプター（HDMI－VGA、MiNi Display Port－VGA、DVI－VGAなど）を必ずご持参ください。

（ミニ D-Sub15 ピン）

・発表されたレポートは、全訪研研究集録「訪問教育研究 第３１集」に掲載させていただく場合があります。原稿依頼を受けた際はよろしくお願いします。

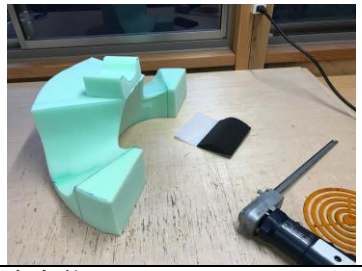
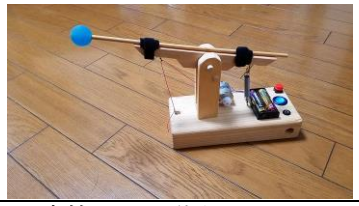
●大会参加者へのレポートの配布について

・各レポート配布はレポーターの判断を尊重します。個人情報保護の観点から、原則として発表される分科会の中のみとなります。
・各分科会の内容は、2019年１月発行の「訪問教育研究第３１集」（1000円＋送料）に掲載されます。大会の会場でも予約を承りますので、他の分科会のレポートを知りたい方はご利用ください。

（４）夕食交流会　　(8/7　18:00～20:00)

交流会は、全国のみなさんとざっくばらんに話し、つながる場です。お互いの都道府県での苦労話や感動を話したり、分科会では聞けないとっておきの話が聞けたりするかもしれませんね。どうぞ、みなさん、参加してください。会場は向かいにあるワシントンホテルです。(※参加する場合、交流会費は６０００円です。)

（5）ワークショップ　　（ 8/8　9:30～11:00）

	ワークショップ名	講　師	内　　容
A	ウレタンスポンジ工作を通して学ぶ座位姿勢の基本 （※製作する物は、これです。） 	高橋良明 （工房ケアベアーズ） ※12年前の第19回新潟大会で好評だった工房ケアベアーズさんによるワークショップ第2弾です。	姿勢をサポートするウレタンスポンジ製補助具作りを体験しながら、座位姿勢の基本が学べます。ここで学ぶウレタン加工の基本は、いろいろな場面で使えるスキルになることでしょう。 ・造作物のおおよそのサイズ： ５０ｃｍ×３０ｃｍ×１５ｃｍ（お持ち帰りいただけます） ★定員２５名程度。（先着順） ★製作費３，０００円が必要です。会場でお支払いください。
B	音楽遊び	内藤厚人（新潟県立高田特別支援学校、シンガーソング絵本作家：中川ひろたか主催の「A1あそびうたグランプリ」初代チャンピオン）	触れ合い遊びと身体遊びを中心に、訪問教育の授業で使える楽しい“あそびうた”の数々をご紹介します。授業のねらいや対象のお子さんに応じた曲の使い方のコツにも触れます。伴奏やCDがなくてもできるとっても簡単なものもありますので、おうちの人でも覚えやすいものがたくさん。歌いながら動きながら一緒にやってみましょう。
C	スイッチで動く面白道具作り ～「打楽器お助けトントンくん」を作ろう！～ （※トントンくん） 	広瀬政春（新潟県立上越特別支援学校）	スイッチひとつで木琴や太鼓をたたく装置、愛称「トントンくん」を製作します。こちらで用意したパーツを組み立てるだけなので工作が苦手な方も、大歓迎です。また、色々な教材、補助具を展示いたします。製作だけでなく教材・教具に関する情報交換も行いたいと思います。 ★定員２０名程度。（先着順） ★製作費１，０００円が必要です。会場でお支払いください。
D	医療的ケアの動向	下川和洋 （NPO法人地域ケアさぽーと研究所理事・全訪研全国事務局）	児童福祉法改正（2016年6月3日公布）や、文部科学省の「学校における高度な医療的ケア等に対応した校内支援体制充実事業」（2017年度～）など人工呼吸器をはじめとする医療的ケアの必要な子どもたちへの支援が、これまでに無いほど注目を集めています。ここでは、国の動向を学ぶと共に参加者で情報交換を行いましょう。
E	訪問教育１年生のあなたへ	岡田敏男（千葉県立松戸特別支援学校全訪研副会長） 樫木暢子（愛媛大学教育学部・全訪研会長）	全訪研役員が豊富な経験をもとに、あなたの疑問に応えてくれます。他県、他校の訪問教育の様子を知りたい、また、自分の学校の訪問教育について知ってほしい、これでいいのか等、様々な悩みについて語り合いましょう。訪問１年生と言わず多くの方の参加をお待ちしています。きっと、明日から、9月からの活力になると思います。

（6）全体会（閉会行事）　　(8/8　11:15～11:45)

大会最終日の全体会です。以下の内容を予定しています。

・副実行委員長あいさつ　・大会宣言　・次回開催地への引き継ぎ　・歌「小さないのち」

■わくわくクラブ（保育）と緊急時の体制について■

実行委員会では、子どもさんや障害があるお子さん連れでも、保護者の方に参加していただきやすいように、わくわくクラブ（保育）を設けます。

●時間帯　次の４つの時間帯でわくわくクラブを実施します。

ⓐ　８月６日（月）１３：００～１８：００　※全訪研総会終了まで
ⓑ　８月７日（火）１０：００～１２：３０　（分科会の時間）
ⓒ　８月７日（火）１３：４０～１６：１０　（分科会の時間）
ⓓ　８月８日（水）　９：３０～１１：４５　（ワークショップ、閉会行事の時間）

●緊急時の体制と医療機関（緊急時には、会場近くの病院での対応をお願いしています。）
新潟県三条済生会病院　（新潟県三条市大野畑6番18号　TEL 0256-33-1551

●わくわくクラブ（保育）申込み
・大会参加申込書の「保育希望」の欄にご記入ください。
・申込み受け付け後、お子さんの生活ケアや医療的ケアの様子を知るために、担当者から連絡させていただきますので、よろしくお願いします。
・クラブ参加費用、おやつ代や見学代等の費用をいただきます。
・大会当日に、保険証または、そのコピーをご持参ください。

■参加費・宿泊費■

①大会参加費

	８月６日	８月７日	８月８日
全訪研会員	２，０００円	３，０００円	２，０００円
一般	２，５００円	３，５００円	２，５００円
保護者・学生	１，０００円	１，５００円	５００円

※参加費に加えて、お一人につき、手数料５００円をいただきます。（事前申込み、当日申込みともに手数料は５００円です。）
※会員と一般は費用が異なりますので、ご注意ください。参加申込みと同時に会員申込みをすることも可能です。参加申込書の「全訪研に入会する」の欄に〇をつけてください。（会員参加費になります。）
入会には年会費４，０００円が別途必要です。会費は大会当日に全訪研受付でお支払いください。

②食事関係
・２日目（８月７日）昼食・・・お弁当　１，０００円（飲み物付き）
※会場内は指定業者の弁当以外は飲食禁止となっています。近隣にも飲食店はありますが、混み合うことも予想されますので、お弁当の注文をお勧めします。
・夕食交流会（８月７日）・・・６，０００円

③宿泊費（１泊朝食付きの料金です。）
ワシントンホテル　（シングル）８，５００円
ニューグリーンホテル　（シングル）７，５００円
※宿泊の詳細については別紙２－２「宿泊のご案内」をご覧ください。
※シングルルーム以外の部屋タイプの希望や、上越新幹線のセット料金など、希望がございましたら、申込書の特記事項欄にご記入ください。
※喫煙希望の方は、申込書の特記事項欄にご記入ください。

■申込み方法■

（１）参加者１人につき１枚「別紙１；新潟大会参加申込み用紙」にご記入の上、**FAXまたはメール**でお申し込みください。
（２）宿泊・交通の斡旋もございます。ご希望の方は「別紙２－１『宿泊・交通』申込み用紙」にご記入の上、お申し込みください。
（３）参加申込み締切は、６月２９日（金）です。お早目にお申込みください。特に、宿泊希望がある場合は、締切厳守でお願いします。
（４）申込み受付後、**旅行社より**連絡を差し上げます。
（５）**旅行社からの連絡内容をご確認後、**参加費・宿泊費等の合計金額を指定口座までお振込みください。請求書、領収書が必要な場合はお申し付けください。再発行や記載変更での再送付には手数料を頂戴する場合があります。

【参加申込書の送付先・問い合わせ先】

＜送付先・受付代行旅行社＞
つばさ観光トラベルサロン（担当：中沢智史）

ＴＥＬ：０２５－７９３－３３３９　　ＦＡＸ：０２５－７９３－３３４５
E-mail：t283@jade.plala.or.jp

大会参加申込み締切　　６月２９日（金）

※申込みはFAXまたはメールでお願いします。

＜申込み後の取り消しについて＞
ご宿泊の取り消しにつきましては、１件１名につき下記の取り消し料金を申し受けます。

ご利用の	20日前～	7日前	前日	当日	無連絡不泊
当該料金の	２０％	３０％	５０％	１００％	１００％

日数は宿泊初日から起算させていただきます。

参加費につきましては、キャンセル手数料１，０００円を差し引いた金額を返金します。

■資料の請求について■

大会に参加できないが大会記録がほしいという場合は、2019年1月に発行される**「訪問教育研究 第３１集」**を送付致します。（送付は来年の1月です。）大会の記念講演や分科会まとめ、その他、訪問教育に関する資料が掲載されています。下記の郵便口座に資料代（送料込み）として、１３００円の入金をお願いします。
郵便振替用紙の「通信欄」に「資料請求代」と明記して下さい。

【資料請求の振込先】　郵便振替口座番号「００１３０－２－９５９３４　全国訪問教育研究会」

（※全訪研会員には、2019年1月に機関紙「こんにちは」と一緒に「訪問教育研究　第31集」を送付しますので、資料請求の申込みはしないでください。）

■第８次全国調査冊子の申込み

全国訪問教育研究会では、4年ごとに訪問教育に関する全国調査を実施しています。2017年度調査結果の冊子を５００円で販売します。ご希望の方は、参加申込書の「第８次全国調査冊子」の欄に〇をつけてください。大会当日、会場で冊子をお渡しします。代金は、当日、全訪研受付でお支払いください。
大会１日目の開会行事内で「第８次全国調査」について報告します。

■「訪問教育研究　第30集」の申込み（※昨年、発行した研究冊子です。）

昨年の大会の記念講演や分科会の内容、訪問教育に関する資料が掲載されています。1冊１，０００円です。購入希望の方は、参加申込書の「全訪研　第30集冊子」の欄に〇をつけてください。大会当日、会場で冊子をお渡しします。代金は、当日、全訪研受付でお支払いください。

■問い合わせ先■　※開催要項の詳細については、全国事務局長まで　ご連絡ください。

＜全訪研会長＞　樫木 暢子　kashiki.nagako.mc@ehime-u.ac.jp
＜全国事務局長＞長　正晴　Tel&Fax 049-231-6941　chou_masaharu@yahoo.co.jp
＜大会事務局長＞古野 芳毅 niigatazenhouken@yahoo.co.jp

＜参加申し込み・宿泊関係＞
送付先・受付代行旅行社　つばさ観光トラベルサロン（担当：中沢智史）
TEL:025-793-3339　FAX:025-793-3345
E-mail:t283@jade.plala.or.jp

〇全訪研ホームページ　http://zenhoken.com
（こちらからも開催要項、参加申込書のダウンロードができます。
全訪研に関するいろいろな情報も見られますので、ぜひ、ご覧ください。）

別紙2-1

第31回全国訪問教育研究会　新潟大会
「宿泊・交通」申込み用紙

申込み締め切り　６月２９日（金）

（送付先・受付代行旅行社）　つばさ観光トラベルサロン　担当：中沢智史
〒946-0076　新潟県魚沼市井口新田827-11
電話　025-793-3339　　ＦＡＸ番号　025-793-3345
メールアドレス：t283@jade.plala.or.jp

※このフォームに入力してEメールまたはFAXで送信してください。

ご所属			
所 在 地			
電話番号		**FAX番号**	
メールアドレス			
当日の緊急連絡先（携帯電話番号など）			

（ふりがな）氏　名	職名	性別	宿泊等			交通チケット※
			第1希望	第2希望	禁煙喫煙	
（例）新潟（れい にいがた）　太郎（たろう）	教諭	男	1	3	禁煙	上越新幹線セットを希望、東京－燕三条

※シングルルーム以外の部屋タイプの希望や、上越新幹線のセット料金など、希望がございましたら、下記特記事項欄にご記入ください。
＜特記事項＞

※ご希望内容については、つばさ観光より連絡を差し上げます。

・７月上旬頃までに確定ホテル名を回答差し上げます。
・内容がよろしければ、請求書を作成しますので、7月13日（金）までに振込みをお願いします。
・その他の問い合わせは上記担当者までご連絡ください。

別紙2-2

第31回全国訪問教育研究会　新潟大会　～宿泊のご案内～

平成３０年８月６日（月）～8日（水）に、燕三条地場産業振興センターにおきまして、

標記大会が開催されますことを心よりお祝い申し上げます。

このたび、 つばさ観光トラベルサロン が大会に参加される皆様のお世話をさせて頂くことになりました。

つきましては、下記のご案内を検討いただき、お申し込み頂きますようお願いいたします。

皆様のご参加を心よりお待ち申し上げております。

申込み締め切り　６月２９日（金）

新潟県知事登録旅行業　第3-324号
（送付先・受付代行旅行社）　つばさ観光トラベルサロン　担当：中沢智史
〒946-0076　新潟県魚沼市井口新田827-11
TEL 025-793-3339　FAX 025-793-3345

	ホテル名	アクセス	宿泊代金　朝食付、税込		備考
1	燕三条ワシントンホテル	ＪＲ燕三条駅 徒歩5分	１名１室	おひとり様　１泊あたり　８，５００円	夕食交流会会場です 大会会場の向かい側
2	ホテルニューグリーン燕三条	ＪＲ燕三条駅 徒歩5分	１名１室	おひとり様　１泊あたり　７，５００円	大会会場より徒歩5～10分

※シングルルーム以外の部屋タイプの希望や、上越新幹線のセット料金など、希望がございましたら、特記事項欄にご記入ください。

【ご案内】

・取消料　20日前から20％、７日前から30％、前日50％、当日100％

・駐車場の事前の予約はできません。満車時や、車高制限で他の駐車場を当日にご案内する場合があります。

・チェックイン前、チェックアウト後の荷物預かり可能です。ぜひご利用ください。

・上越新幹線とのセット割引も設定がございます。ご希望の乗車区間をお知らせください。

・その他、 前泊や後泊、ＪＲきっぷ、高速バスなど、 手配を承ります。　ご遠慮なくお申し付けください。

・問い合わせは、つばさ観光　担当中沢０９０－５４２３－５１６２　までご連絡ください。